OK1 PLASTER 2

OK1 Plaster2をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
この用紙は、OKI MICROLINE VINCI C941dnでプリントした画像を、プレス機を使い、
簡単に織物に転写することのできる用紙です。
正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

ご使用になる前にご確認ください

この用紙は、OKI MICROLINE VINCI C941dnで出力した画像を簡単に
オリジナルのプリント転写が出来る用紙ですが、以下の点にご注意下さい。

●本製品をプリンタに通される際のプリンタの保証に関しては、普通紙同様の扱いとなりすので予めご了承下さい。
●仕様は余儀無く変更される場合がございますので、予めご了承下さい。
●転写後の布は、市販されているプリントTシャツやシルク印刷されている布などと異なり、デリケートな扱いが必要です。
●一度転写したものははがすことが出来ませんので、いらない同一の布でお試しすることをお勧めします。
●下記に書かれている「転写できる布」以外には対応しかねますのでご注意下さい。
（色落ち、はがれ、にじみなどを起こす可能性があります。）

！安全上のご注意！

●プレス機を使用しますので、火傷、火災に十分にご注意下さい。
●大変危険ですので、お子様の手の届かない場所で作業をして下さい。
●ご使用前に本製品とご使用になるプレス機の取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

転写できる布

・生地素材

◎ 綿・ポリエステル・ナイロン(弊社推奨トムス製品。又は相応の生地)
平織りジャンパー素材に対しての転写は、弱撥水までの対応となります。水滴を垂らして水がはじくものは転写できません。

× 表面にノリ加工や強い防水処理されている素材。熱に弱い素材。目の粗い素材。
ゴムの様に大きな伸縮性のある素材。

準備するもの

1. 転写する布地
2. MPQS−S用紙
（印刷シート）
3. F−DX4.0i用紙
（トナーの上にノリ付けするシート）
4. リケイ紙(同梱)
5. フォースインペーパーS(同梱)
6. ヒートラミネーター
7. プレス機

●プレス機は、・圧力 300g/cm² ±10%
・温度 135±5℃に設定して下さい。

●ヒートラミネーターは、150±10℃に設定して下さい。

※推奨ラミネーター アイリスオーヤマ社製
LTA42W/LTA32Wをご使用の場合は、
最高温度 C に設定して下さい。

リケイ紙

・何回でも使用できます。
・裏表はありません。
・しわが入っている部分
は使用しないで下さい。

MPQS−S用紙 （転写紙）

・マットな面が
オモテ面です。
印刷の際ご注意下さい。

※箔はご使用出来ません。
箔をご使用の場合は別途MPQSをお買い求めください。
詳しくは弊社までお問合せください。

フォースインペーパーS

・30回～50回使用できます。
・ぬめりのある面がオモテ面
です。

F−DX4.0i用紙
(トナーの上に
ノリ付けするシート)

・乳白色の面が
オモテ面になります。

当社推奨プレス機

[TP−700A 22L]

※当社推奨プレス機以外をご使用の場合は、
お客様にて温度、圧力、プレスの状態を
十二分に確認してご使用頂けますよう
お願い申し上げます。

使用方法

まず最初に、プリントした時の色合いを鮮やかにするため、プリンタの調整を行って頂きます。
プリンタの「メニュー」ボタンを押します。→ ⑥番の「プリンター調整」を押します。
→ 2ページ目④番の「濃度設定」を押します。　　設定を右の表のように行います。→

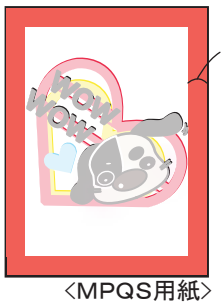
※調整を行って頂いた場合でもお客様のプリント環境などにより、転写後の色合いが異なる可能性がございますので、よくお確かめの上、お客様任意で調整をお願い致します。

シアン濃度	＋ 4
マゼンタ濃度	＋ 4
イエロー濃度	＋ 6
ブラック濃度	＋ 4
ホワイト濃度	0

① プリントしたい画像、お好きなイラストを、あらかじめデザインをします。
全体に白トナーが乗るように特色指定を行い、出力します。
反転した画像を、MPQS-S用紙に出力します。

元画像

反転して下さい。



2～3cm
用紙サイズの端から
2～3cm余白を作って、
イラストをおさめて下さい。

〈MPQS用紙〉

給紙方法
・マルチパーパストレイ

用紙厚
・ごく厚い紙1(夏場)
もしくは
・ごく厚い紙2(冬場)

用紙種類
・粗い紙

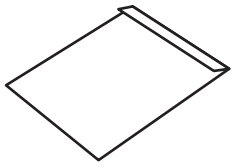
※ベタ色がムラになる場合は、用紙にドライヤーの温風をかけ、乾燥させて下さい。

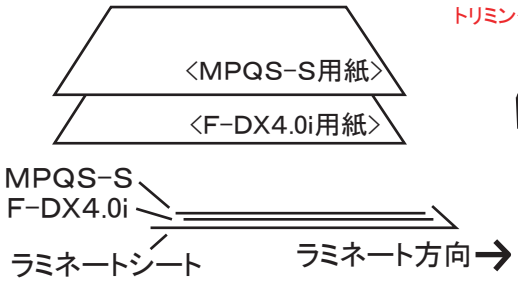
※アプリケーション指定で、特色データにオフセットを約-0.1㎜かけることにより、エッジ部分に白色がはみ出にくくなります。

※本製品はカラー濃度CMYKのいずれかが70%～80%の間でトリミングが可能になるように製造されておりますが、環境により異なりますので、濃度70%～80%部分に白トナーが乗らない設定で出力し、加工をされる場合は、お客様責任でお願い致します。

② ラミネートシートを作成し、MPQS-S用紙のプリント面と、F-DX4.0i用紙の乳白色面を重ね合わせ、ラミネートシートに挟んでラミネーターに通します。

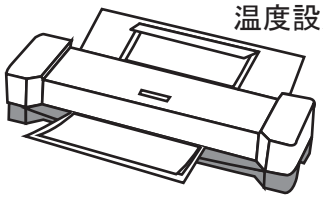
【ラミネートシートの作り方】
転写紙のサイズより少し大きめの厚紙を図のように、折り曲げます。





※ラミネート後は直ぐにトリミングを行ってください。
やむを得ない場合は、密封して1日以内に
トリミングを行ってください。

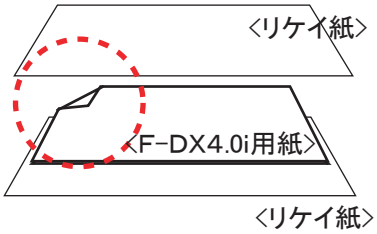
温度設定：C



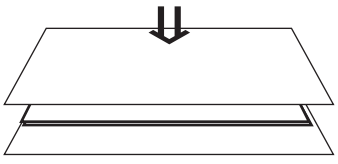
推奨ラミネーター
アイリスオーヤマ
(LTA42W/LTA32W)

③ プレス機の下ゴテにリケイ紙を乗せ、その上に、ラミネートした2枚をF-DX4.0iが上になるように乗せ、上にリケイ紙を乗せてA4サイズなら約40～50秒、 A3サイズなら約50～60秒プレスします。

Point!!
めくり始める側を
少し折っておくと
プレス後めくりやすい



※プレス機の種類、環境などによって
温度、秒数を変更する場合がございます。

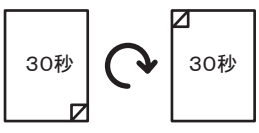


※イラストの形状により、トリミングの作業方法を変更して頂くと、よりトリミングの精度が上がりますので、下記の例をご覧ください。

(例)

【大きく、幅の広い数字等が入っているデザイン】
・ラミネーターを通さない。
・プレス機で直接50～60秒プレス

【ベタの多いデザイン】
・プレス機で30秒プレス
・180℃回転させて再度30秒プレス

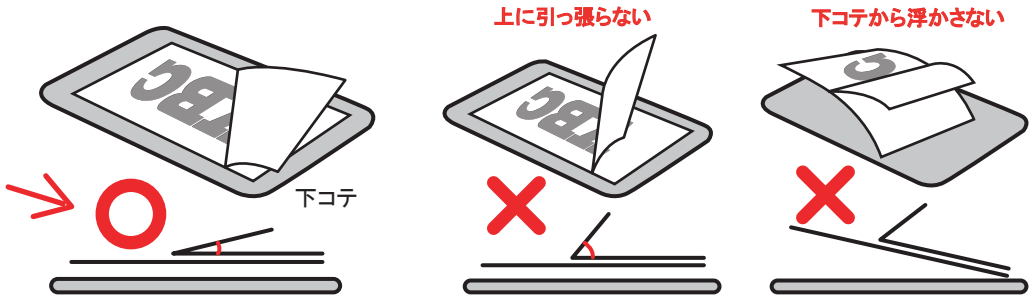


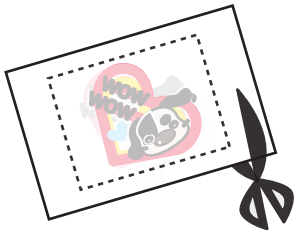
注：(例)の方法は、お客様の加工環境により異なります。

④ プレスが終わったら、熱いうちに一定の速度でF-DX4.0iを丁寧にはがします。(10cm/秒)
・トリミングの目安: プレスが終わってから、A4サイズ 約6秒 A3サイズ 約8秒

Point!!

プレス機の下ゴテから
用紙を離さないように、
下ゴテと平行方向(鋭角)
にはがす。
※用紙から熱を
逃がさないのがコツ



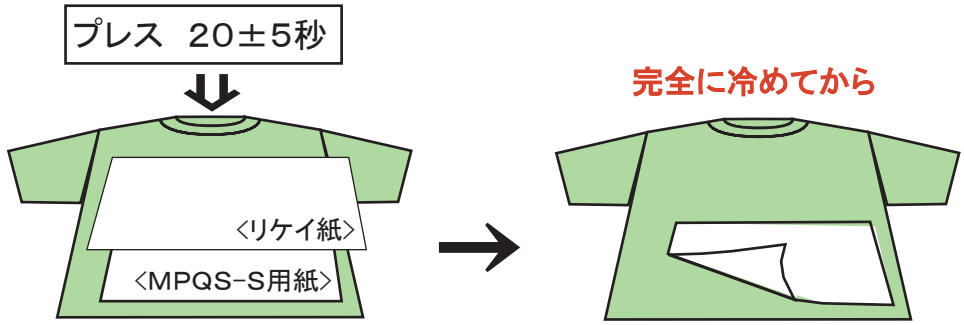


※プリントする前に、イラストの周りに付いた、白ノリ汚れをハサミでカットして下さい。

※熱いうちに白ノリ面に触れるとキズが付く場合がございます。完全に冷めてからカットして下さい。

※トリミング完了後の印刷シートは、光に当てて透かし、不必要な部分にノリがついていないか、ノリの部分がきれいにトリミングされているか、穴が空いていないかよく確認してから プリントして下さい。

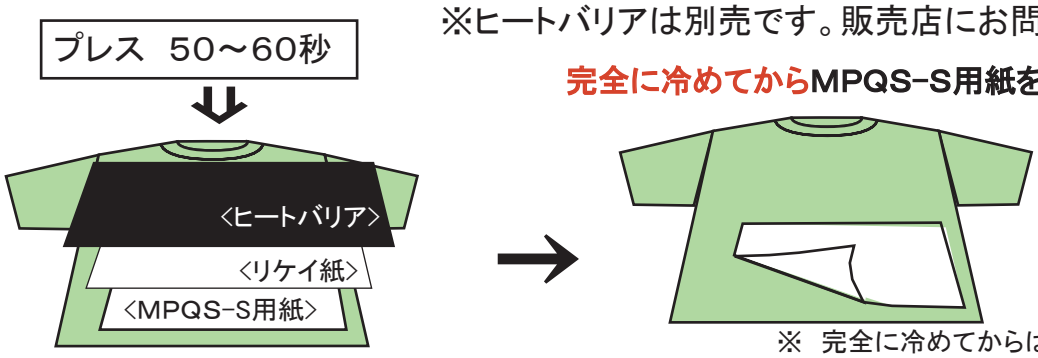
⑤ 布地のプリントしたい部分に乗せ、リケイ紙を乗せて20±5秒プレスします。
完全に冷めてからMPQS-S用紙を丁寧にはがします。



【色を鮮明にプリントしたい場合】

リケイ紙の上にヒートバリアを乗せ、140±5℃で、50~60秒でプレスします。
※ヒートバリアは別売です。販売店にお問い合わせ下さい。

完全に冷めてからMPQS-S用紙を丁寧にはがします。



※ 完全に冷めてからはがす

⑥プリント部分にフォースインペーパーSを乗せ、15±5秒プレスすると完成です!

※プレス機の温度が高すぎたり、秒数が長いと色が変化します。ご注意下さい。

ナイロン・ポリエステルの平織りジャンパー素材にプリントする場合

① MPQS-S/F-DX4.0iを説明書に沿ってトリミングします。

② プリントしたい生地にリケイ紙のみを乗せて**135±5℃**で5秒、仮プレスをします。(仮プレス)

仮プレス　5秒

【※注意】

プリント生地は、弱撥水加工までの
対応となっております。
強く撥水の加工がされているものは、
定着不良や、はがれの原因になりますので、
プリントをしないで下さい。

③ トリミングしたMPQS-Sを乗せて、**135±5℃**℃で5～10秒プレスします。
完全に冷めたら台紙を剥がし、リケイ紙で20～30秒再プレスしたら完成です！

◆ジャンパー素材で失敗してしまった時には・・・

① ハンカチやタオルなどに、市販のアルコールをひたひたに含ませます。（トレーなどに敷いておくと作業がしやすいです。）

② プリントした部分の裏側から、アルコールを含ませたタオルを当て、プリント部分がひたひたになったら1分待ちます。

③ 端の方からゆっくり剥がしていくと、綺麗に取り除くことが出来ます。

※Tシャツなどのニット織の製品では上記方法で取り除くことが出来ませんので、ご了承下さい。

■プリントした布地を洗濯する際の注意点■

- ●ドライクリーニングは色落ちの原因になりますので行わないで下さい。
- ●漂白剤に長時間浸しておくと、転写部分が変色する恐れがあります。
- ●洗濯機で洗う場合は、ネットに入れ、他の衣類とは別にすることをお勧めします。
- ●乾燥機、タンブラ洗濯機のご使用はお避け下さい。
- ●直射日光は避けて、陰干しして下さい。
- ●プリント部分へ直接アイロンがけは出来ません。(リケイ紙をあてて、中低温で裏返しにしておかけください。)

本書は、一般的な工業的用途について、「製品の適切な取り扱い」を確保するための参考資料としてご提供するもので、
製品の保証書ではございません。
本書をご参考にして頂き、お客様のお取り扱い頂く環境・用途に応じた適切な使用方法をお取りくださいますよう、
お願い申し上げます。